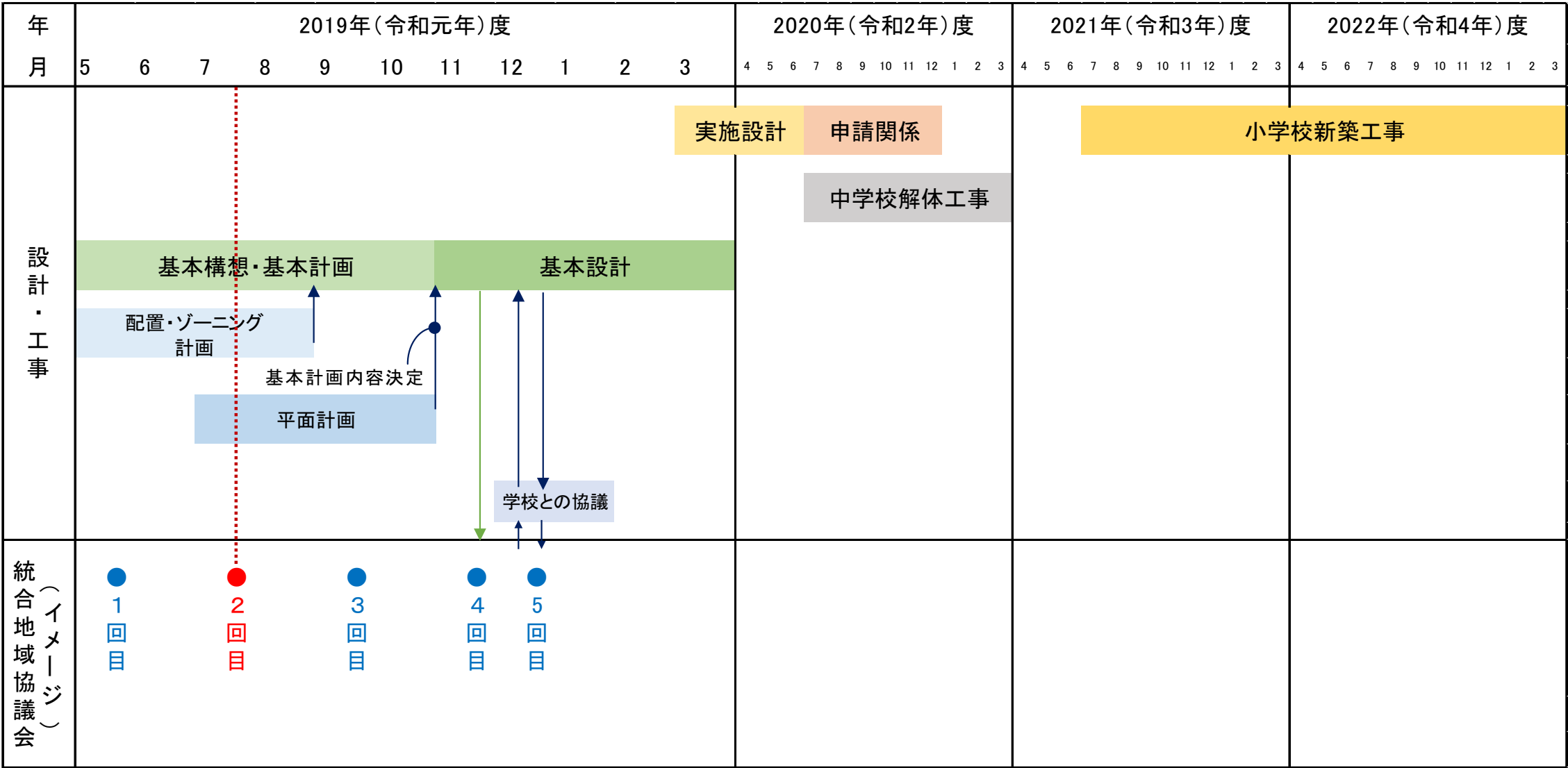


1. 設計スケジュール（案）
2. 周辺施設の整理
3. ハザードマップ
4. 計画規模の設定（児童クラス数・必要所室と計画規模）
5. 配置計画比較表
6. 体育館・普通教室の設置階整理表

■北鹿浜小学校・鹿浜西小学校統合に伴う設計スケジュール（案）



基本構想

設計に向けての条件をまとめる段階。  
該当地の建築条件や設計する上で必要な計画等の把握等を踏まえ、大まかな建物規模を検討する。

基本計画

基本構想でまとめた条件を元に建物の配置や平面計画、空間の構成、学校として必要とされる機能・性能を検討する。

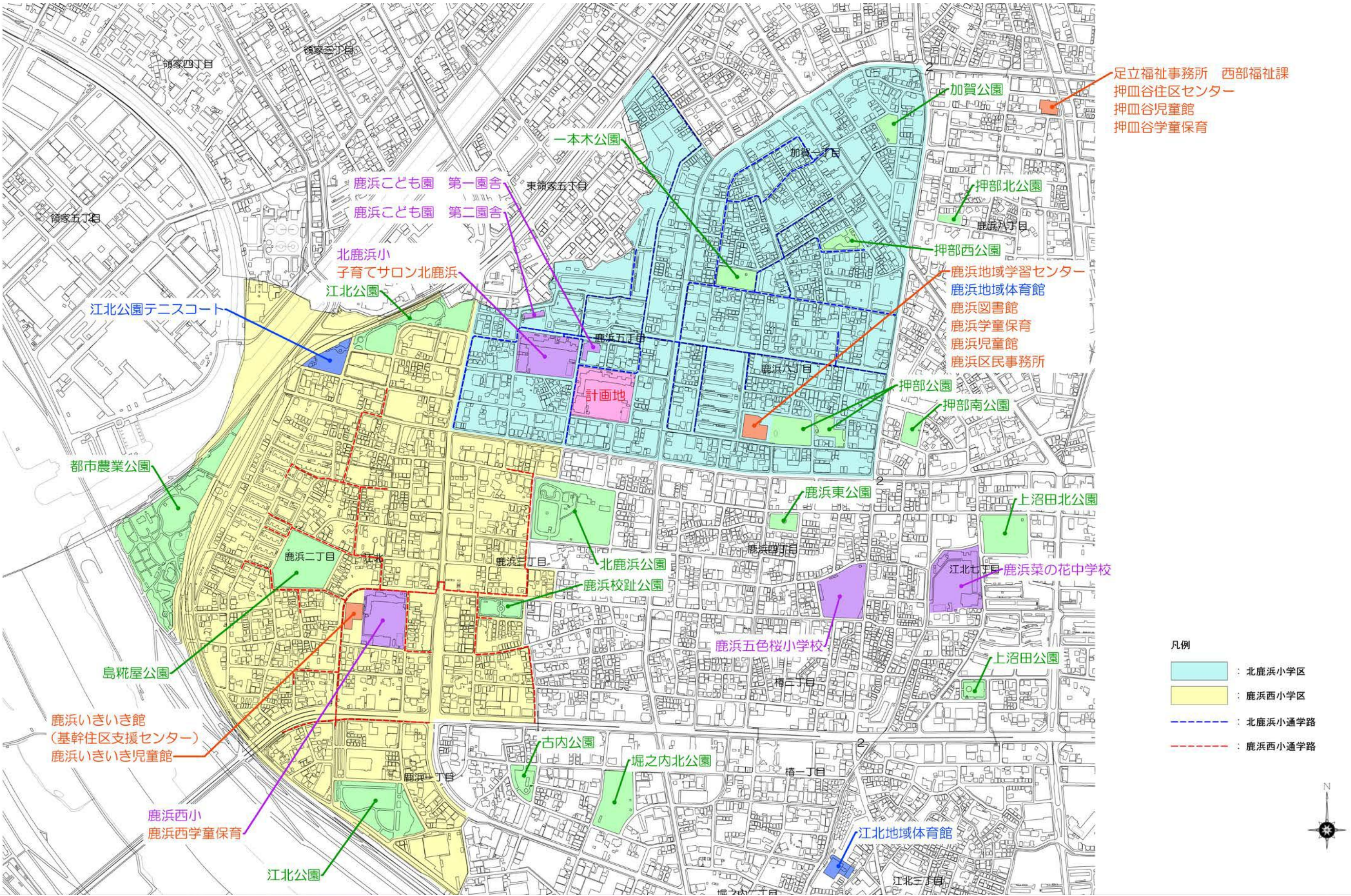
基本設計

基本計画でまとめた配置、平面計画を元に使用者である学校等の要望を取りまとめていく。  
例えば、校舎のセキュリティや動線計画、建物全体の仕上、各室の使い方、机の種類、配置、必要な設備（給排水、空調、電気）など

実施設計

これまでまとめた構想や計画を元に具体的に工事を行うことができる図面を作成する。












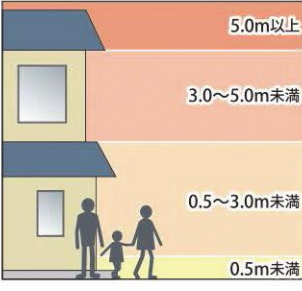




◆ハザードマップの情報整理

(1) 浸水被害の確認

防災マップでは複数の河川氾濫時の浸水被害が設定されている。  
計画地の周辺地域においては最大 0.5m 以上 3m 未満の浸水が見込まれる。

ハザードマップ	場合	想定される最大浸水深	浸水継続時間	ハザードマップ	場合	想定される最大浸水深	浸水継続時間
	荒川と江戸川が同時に氾濫	0.5m 以上 3m 未満	1 日以上 3 日未満		綾瀬川が氾濫	浸水なし	—
	荒川が氾濫 (早期立ち退き避難が必要な区域に指定)	0.5m 以上 3m 未満	1 日以上 3 日未満		芝川・新芝川が氾濫	0.5m 以上 3m 未満	情報なし
	利根川が氾濫	0.5m 以上 3m 未満	1 日以上 3 日未満		大雨などにより内水氾濫が発生	0.5m 未満	情報なし
	江戸川が氾濫	浸水なし	—		高潮による浸水が発生	浸水なし	—
	中川が氾濫	浸水なし	—	<div>凡例</div> <div>想定される最大浸水深</div> <div><div>5m以上</div><div>3m以上～5m未満</div><div>0.5m以上～3m未満</div><div>0.5m未満</div></div> <div></div> <div>早期立退き避難が必要な区域 2階建ての建物が水没するほどの浸水深や、木造家屋が倒壊するような流速になる等の場合があり、早期の立退き避難が必要になる区域。</div>			



(2) 緊急避難建物指定状況

北鹿浜小学校、鹿浜西小学校ともに緊急避難建物に指定されている。  
荒川氾濫時、北鹿浜小が2階以上は使用可、鹿浜西小が3階以上は使用可となっている。  
統合校新設地は北鹿浜小の隣地となるため、2階以上は使用可となるよう計画する必要がある。

緊急避難建物について

緊急避難建物とは、浸水しない地域に避難する時間的余裕がない場合に、緊急避難するための施設であり、避難生活などの長期的な滞在を想定したものではありません。避難所は、各建物やその周辺の浸水状況等を踏まえて開設されます。

緊急避難建物一覧の表の見方

『緊急避難建物一覧』(P33～P35)について、以下のとおり確認してください。

表の説明

番号	名 称	所在地	電話番号	荒川	利根川	江戸川	中川	綾瀬川	芝川・新芝川	内水氾濫	高潮
1	青井小学校	青井3-12-2	3880-2255	3	3	○	○	○	3	○	2
2	足立小学校	足立3-11-5	3887-8891	4	3	○	○	2	3	2	2

①

②

③

- ①この表の番号は、ハザードマップ(P5～P32)上に記載された緊急避難建物の番号と一致しています。
- ②緊急避難建物として指定されている施設の名称、所在地、電話番号です。校舎の改築工事中は、他の緊急避難建物へ避難してください。また、学校統合に伴い、名称や所在地が変更となる場合があります。改築工事、学校統合の予定時期は、各表の下に記載しています。
- ③河川の洪水、内水または高潮による氾濫が発生し、想定される最大の浸水深となった場合の各緊急避難建物の使用可能状況です。以下のとおり確認してください。
- 「○」:すべての階を使用することができます。
  - 「○」「□」:上層階のみ使用することができます。
- 記載されている数字以上の上層階は使用できますが、数字より下の階は浸水することが想定されているため、使用できません。
- 記載例)
- ②…2階以上は使用可、1階は使用不可
- ③…3階以上は使用可、1階と2階は使用不可
- ※□で表示されている緊急避難建物は、想定される浸水深が深く、浸水が引くまでに長時間を要する地域にあるため、避難した場合は建物内に孤立する可能性があります。十分に注意してください。
- 「×」:使用できません。

緊急避難建物一覧(1 / 3)

番号	名 称	所在地	電話番号	荒川	利根川	江戸川	中川	綾瀬川	芝川・新芝川	内水氾濫	高潮
1	青井小学校	青井3-12-2	3880-2255	3	3	○	○	○	3	○	2
2	足立小学校	足立3-11-5	3887-8891	4	3	○	○	2	3	2	2
3	足立入谷小学校	入谷3-8-1	3853-0421	2	2	○	○	○	2	2	○
4	綾瀬小学校 ※1	綾瀬3-12-15	3605-7328	3	3	2	2	○	○	○	3
5	伊興小学校	伊興4-16-1	3899-1134	2	2	○	○	○	○	○	○
6	梅島小学校	梅田7-35-1	3889-9501	3	3	○	○	○	3	○	2
7	梅島第一小学校	梅島3-37-4	3889-0334	3	3	○	○	○	2	○	2
8	梅島第二小学校	梅田3-27-4	3889-1401	×	3	○	○	○	3	2	2
9	桜花小学校	花畑6-4-6	3885-4911	2	2	○	○	○	2	○	○
10	扇小学校	扇2-30-1	3898-2156	3	2	○	○	○	2	○	○
11	大谷田小学校	中川4-41-27	3605-6344	3	3	2	2	○	○	○	2
12	興本小学校(興本扇学園)	扇3-22-1	3890-7104	2	2	○	○	○	2	○	○
13	加平小学校	六町3-3-11	3884-0716	2	2	○	○	○	2	○	2

※1 綾瀬小学校:2020年4月から2022年3月まで改築工事予定

緊急避難建物一覧(2 / 3)

番号	名 称	所在地	電話番号	荒川	利根川	江戸川	中川	綾瀬川	芝川・新芝川	内水氾濫	高潮
14	亀田小学校	西新井栄町1-1-1	3889-2621	3	3	○	○	○	2	○	2
15	北三谷小学校	東和1-17-12	3605-6481	3	3	2	2	○	○	2	3
16	北鹿浜小学校 ※2	鹿浜5-27-1	3853-3151	2	2	○	○	○	2	○	○
17	栗島小学校	青井6-13-10	3887-6491	3	3	○	○	○	2	○	2
18	栗原小学校	西新井栄町2-10-18	3887-6391	3	3	○	○	○	2	○	2
19	栗原北小学校	栗原4-25-9	3853-1216	2	2	○	○	○	2	○	○
20	弘道小学校	西綾瀬4-7-27	3887-6691	3	3	○	○	○	3	○	2
21	弘道第一小学校	弘道1-20-8	3889-4437	3	3	○	○	○	3	○	2
22	江北小学校 ※3	江北3-50-1	3899-1144	×	2	○	○	○	2	○	○
23	高野小学校 ※3	江北5-4-1	3890-4401	2	2	○	○	○	2	○	○
24	古千谷小学校	古千谷本町4-12-16	3855-3161	2	2	○	○	○	2	2	○
25	血沼小学校	血沼1-19-1	3857-4651	2	2	○	○	○	2	○	○
26	鹿浜五色桜小学校	鹿浜4-20-22	3898-1321	2	2	○	○	○	2	○	○
27	鹿浜第一小学校	谷在家2-24-1	3899-3456	2	2	○	○	○	2	○	○
28	鹿浜西小学校 ※2	鹿浜2-24-1	3897-1181	3	2	○	○	○	2	○	○
29	島根小学校	島根3-28-11	3884-0121	2	2	○	○	○	2	2	○
30	新田学園(小中一貫校)	新田3-34-2,新田3-30-16	3912-9436	3	○	○	○	○	○	2	○
31	関原小学校	関原3-38-3	3889-7216	3	3	○	○	○	2	○	○
32	千寿小学校	千住宮元町6-1	3888-5456	×	○	○	○	○	○	○	○
33	千寿桜小学校	千住桜木1-8-15	3888-5356	3	○	○	○	○	○	○	○
34	千寿常東小学校	千住旭町10-31	3888-5466	×	○	○	○	○	○	2	○
35	千寿第八小学校	千住関屋町16-1	3888-7826	3	○	○	○	○	○	○	○
36	千寿双葉小学校	千住大川町17-1	3888-6326	×	○	○	○	○	○	○	○
37	千寿本町小学校	千住3-30	3888-8361	4	○	○	○	○	○	○	○
38	竹の塚小学校	竹の塚1-8-1	3884-5334	2	2	○	○	○	2	○	○
39	辰沼小学校	谷中5-12-1	3629-2421	2	2	2	○	○	○	○	2
40	寺地小学校	扇1-7-1	3890-7204	×	3	○	○	○	2	○	○
41	舎人小学校	舎人1-25-32	3899-1146	○	○	○	○	○	○	○	○
42	舎人第一小学校	舎人6-4-1	3897-9917	2	○	○	○	○	2	2	○
43	中川小学校	大谷田3-17-20	3605-7777	2	3	2	○	○	○	○	2
44	中川北小学校	六木1-6-10	3620-3831	2	3	2	2	○	○	○	2
45	中川東小学校	大谷田2-1-10	3629-4511	3	3	2	2	○	○	○	2
46	中島根小学校	島根2-9-22	3850-4071	2	2	○	○	○	2	○	○
47	長門小学校	中川1-19-32	3602-8887	2	3	2	2	○	○	○	2
48	西新井小学校	西新井本町4-9-27	3890-5591	3	2	○	○	○	2	○	○
49	西新井第一小学校	西新井6-21-3	3890-4504	2	2	○	○	○	2	○	○
50	西新井第二小学校	西新井4-34-1	3899-2151	2	2	○	○	○	○	○	○
51	西伊興小学校	伊興2-6-1	3897-8251	2	2	○	○	○	○	2	○
52	西保木間小学校	西保木間4-2-1	3884-3295	2	2	○	○	○	○	○	○
53	花畑小学校	南花畑3-22-1	3883-6791	2	2	○	○	○	2	○	○
54	花畑第一小学校	花畑1-29-1	3884-0726	2	2	○	○	2	2	○	2
55	花畑西小学校	花畑4-21-1	3883-1471	2	2	○	○	○	2	○	○
56	花保小学校	南花畑2-19-1	3885-7335	2	2	○	○	○	2	○	2
57	東綾瀬小学校	東綾瀬2-15-15	3620-7141	3	3	2	2	2	○	○	3
58	東伊興小学校	東伊興1-4-15	3897-5341	2	2	○	○	○	○	2	○

※2 北鹿浜小学校、鹿浜西小学校:2023年4月に統合予定(統合校所在地 鹿浜5-18)  
※3 江北小学校、高野小学校:2022年4月に統合予定(統合校所在地 江北4-21)



◆与条件の整理

(1) 児童数・クラス数 等

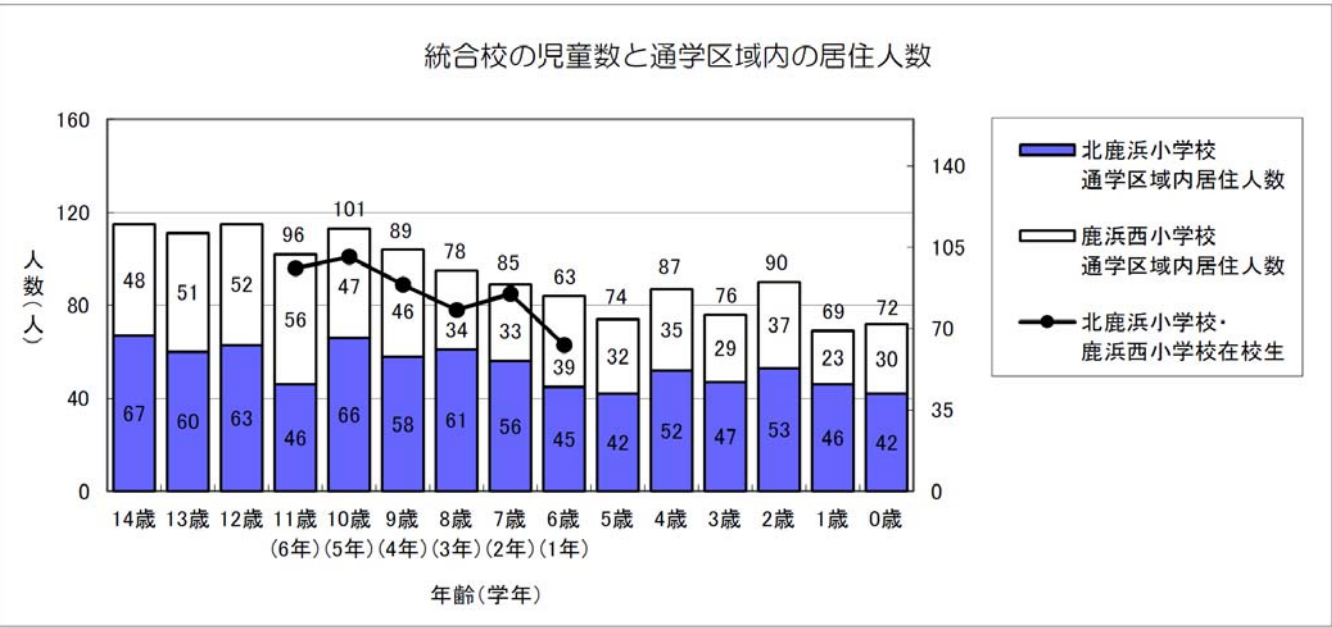
・平成 30 年度児童数を下表 2 に示す

表 2. 児童人数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
鹿浜西小学校	21 人	26 人	34 人	34 人	39 人	39 人	193 人
北鹿浜小学校	35 人	34 人	51 人	44 人	52 人	63 人	280 人
計	56 人	60 人	85 人	78 人	91 人	101 人	473 人
1 年・2 年：35 人クラス	2 クラス	2 クラス		(3) クラス			
多い方のクラスの児童数	28 人	30 人		(26) 人			
3 年～6 年：40 人クラス			3 クラス	2 クラス	3 クラス	3 クラス	
多い方のクラスの児童数			29 人	39 人	31 人	34 人	
計画普通教室数	3 教室	3 教室	3 教室	3 教室	3 教室	3 教室	18 教室
空き教室	1 教室	1 教室	0 教室	1 教室	0 教室	0 教室	3 教室

・鹿浜西小学校及び北鹿浜小学校の通学区内の居住人数（平成 29 年 5 月 1 日時点）を下図 A に示す。住居人数は減少傾向にある。統合する 2023 年には、H29 時 0 歳児が 1 年生となるが、全員が入学した場合、学年当たり 2 クラスから 3 クラスとなる。

図 A. 鹿浜西小学校及び北鹿浜小学校の通学区内の居住人数（足立区資料より引用）

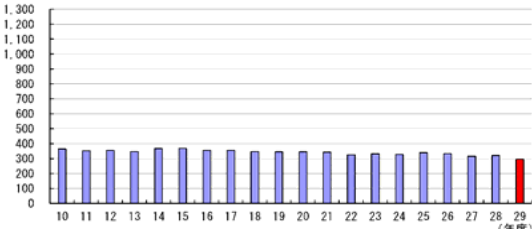


・鹿浜西小学校及び北鹿浜小学校の児童数の推移（平成 29 年 5 月 1 日時点）を下図 B に示す。  
児童数は全体的に緩い減少傾向であるが、今後 7 年以内の範囲においても変動は少ない。

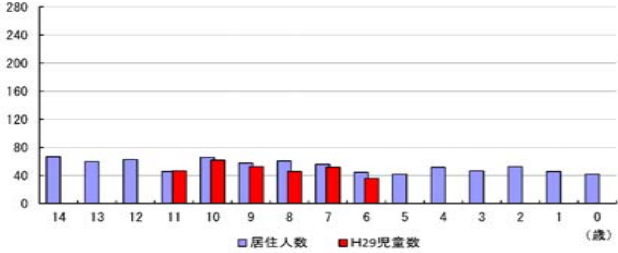
図 B.

■北鹿浜小学校

②学校全体の児童数の推移グラフ

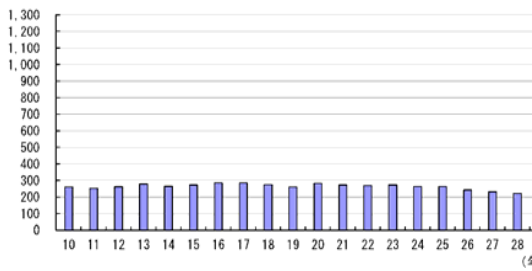


②通学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ

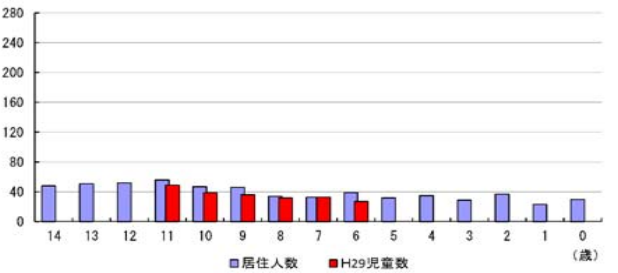


■鹿浜西小学校

②学校全体の児童数の推移グラフ



②通学区内の学齢・学齢前人口の推移グラフ



(2) 必要所室と室規模の設定

- ・ 想定施設規模及び現在校舎より引き継ぐ室を加え、計画案を設定する。  
想定規模：普通教室 18 教室、多目的教室 3 室、特別教室 10 教室程度
- ・ 各室の室数及び規模については、今後の協議により最終決定する。
- ・ 普通教室の大きさを 1 単位として、各室の規模を検討する。

下表に想定する室の計画規模（目安）を示す。（今後調整可）

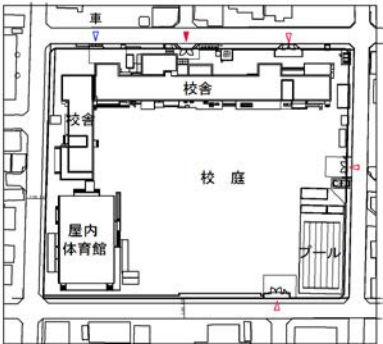

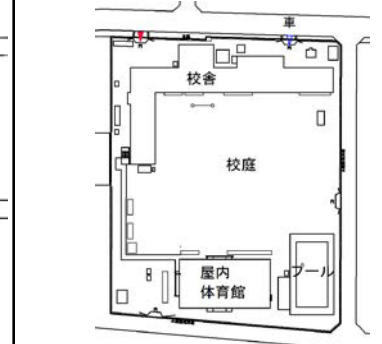
表 2. 所要室数と計画規模一覧

	室名	計画室数	計画規模	備考
①教室	普通教室（CR）	18	基準（1）	
	多目的教室	3	1～1.5	生活科（付近に教材庫が必要）・算数・外国語室（現在校に有り）等で使用する。
	特別支援教室	1	1	間仕切りの機能を有する
②特別教室	理科室（準備室）	1	1.5+0.5	
	音楽室（準備室）	1	1.5+0.5	鼓笛室（現在校にあり）
	図工室（準備室）	1	1.5+0.5	
	家庭科室（準備室）	1	1.5+0.5	
	視聴覚室	1	1.5	ランチルームとの兼用も可能とする
	コンピュータ室	1	1	普通教室又は多目的室の利用
	図書室（準備室）	1	3～4+0.5	
	ランチルーム	1	1.5	現在校舎に有り
③屋内運動場				700 m <sup>2</sup> 程度
④プール				25m×6 コース

	室名	計画室数	計画規模	備考
⑤管理諸室	職員室	1	2	
	校長室	1	0.5	
	事務室	1	0.5	
	管理室（主事室）	1	0.5	
	保健室	1	1	
	放送室	1	適宜	
	印刷室	1	0.5	
	職員更衣室（男子・女子）	1	0.5	
	職員用便所（男子・女子）	1	0.5	
	教育相談室	1	0.5	
	PTA 室	1	0.5	
	会議室	1	1	
⑥その他	物品庫・教材庫	各フロア複数	適宜	分散配置
	給食室	1		400 m <sup>2</sup> 程度
	配膳室	各フロア 1	適宜	
	昇降口	1	適宜	
	児童用トイレ（男子・女子）	各フロア 2	適宜	多目的を 1 階及び 2 階に配置
	防災備蓄倉庫	適宜	適宜	
	放課後こども教室	適宜	適宜	
	学童保育室	適宜	適宜	@35 人、事務所機能あり
	地域連携室	適宜	適宜	現在校舎に有り
	子育て支援室	適宜	適宜	現在校舎に有り （学校に必要なかの判断が必要）

■校舎の配置検討を行う。

・参考： 現在校舎（北鹿浜小学校・鹿浜西小学校）の配置資料

現況（中学校）配置		北鹿浜小学校		鹿浜西小学校	
					
敷地面積（11,647㎡）		敷地面積（10,275㎡）		敷地面積（10,153㎡）	
平面計画	普通教室の向き	南 日当たりがよい	－	南 日当たりがよい	－
	教室への西日の影響	ほとんどなし	－	ほとんどなし	－
	主な児童の通学動線	北・東	－	北・東	－
グラウンド計画	グラウンドの広さ	約4000㎡	－	約3000㎡	－
	トラック・直線の長さ	120mトラック、直線50+6+6m	－	120mトラック、直線50+6+6m	－
	グラウンドの配置・向き	南 校舎による影は発生しない	－	南 校舎による影は発生しないが、体育館の影はできる。	－
	グラウンドの形状	整形	－	整形	－
周辺地域との関係性	日影	北・西側の街区への日影があるが、北側は建物との離隔があり影響が少ない	－	北側の街区への日影がある	－
	建物（普通教室・共用室）からの騒音	境界からの距離があり影響はすくない。	－	東側街区への影響がある	－
	グラウンドからの騒音	南側街区への影響がある	－	東側街区への影響がある	－
	視線影響	視線影響は少ない	－	視線影響は少ない	－
総合評価		－	－	－	－



・校舎の配置比較を下表の通り行う。

想定条件 ①プールは最上に配置 ②職員室、保健室は1階に配置 ③校舎は3階建て又は4階建て ④校庭は人工芝（鹿浜五色桜小学校を参考）

■ 校舎の配置検討

		L型配置案（現在の両校と同等）		A案(北校舎案)		B案（南校舎案）		C案（東校舎案）		D案（西校舎案）	
平面計画	普通教室の向き	南 日当たりがよい	○	南 日当たりがよい	○	南 現状、南街区は低層建物なので日当たりがよい	○	東 現状、東街区は低層建物なので午前中は日が入る	△	東 午前中は日が入る	△
	教室への西日の影響	ほとんどなし	○	ほとんどなし	○	ほとんどなし	○	特別教室等の影響が大きい	△	特別教室等の影響が大きい	△
	主な児童の通学動線（今後検討）	東	－	東・西	－	西・南	－	南・東	－	南・西	－
グラウンド計画	グラウンドの広さ	約3000㎡	△	約3500㎡	△	約5000㎡	◎	約4000㎡	○	約4000㎡	○
	トラック・直線の長さ	120mトラック、直線60m	△	150mトラック、直線60m	○	150mトラック、直線60m	○	150mトラック、直線60m	○	150mトラック、直線60m	○
	グラウンドの配置・向き	南 校舎による影は発生しない。午後は体育館による影ができる。	△	南 校舎による影は発生しない	◎	北 校舎の日影が落ちる。降雨後は人工芝なので影響は少ない	○	西 午前中学校舎の影が落ちる。降雨後は人工芝なので影響は少ない	○	東 午後に校舎の影が落ちる。降雨後は人工芝なので影響は少ない	○
	グラウンドの形状	整形	○	整形・やや横長	△	整形	○	整形	○	整形	○
周辺地域との関係性	日影	北・西側の街区への日影がある。	△	日影規制の影響を避ける為、北面に空地を確保する必要がある	△	近隣への影響は最も少ない	○	近隣への影響は少ない	○	近隣への影響は少ない	○
	建物（普通教室・共用室）からの騒音	境界からの距離があり影響はすくない。	○	境界からの距離が確保出来る為有利。南街区に住宅が建設されても環境はかわらない。	○	南側街区への影響は大きいが住宅がほとんど無いという意味では影響は少ない。	○	東側街区への影響が大きい	△	西側街区への影響が大きい	△
	グラウンドからの騒音	現状からの変化は少ない。東・南側街区への影響が大きい。	○	西側以外は現状からの変化は少ない。東・西・南側街区への影響がある	○	東・西・北側共現状からの変化が大きい。東・西・北側街区への影響が大きい	△	西・北側が現状からの変化が大きい。南・北・西側街区への影響が大きい	△	北側が現状からの変化がある。南・北・東側街区への影響が大きい	△
	視線影響	共用室と北・西側街区への影響が大きい	△	共用室と北側街区への影響が大きい	○	教室と南側街区への影響は有るが、住宅がほとんど無いという意味では影響は少ない。	○	教室と東側街区への影響が大きい	△	共用室と西側街区への影響が大きい	○
総合評価		既存校舎に準じた配置計画。北側の日影規制を避ける為、セットバックが必要となる。	△	教室・グラウンド共に陽あたりの良い計画。既設の中学校とほぼ同じ配置なので、周辺地域への建物影響の変化が少ない。	○	建物は日影規制の影響を避けて南配置とし、グラウンドを広くする計画。周辺地域への影響は比較的少ない。	○	グラウンドが比較的整形となる計画。周辺地域への影響が他案より多い。	×	グラウンドが比較的整形となる計画。教室の環境はあまり良く無いが、周辺地域への影響は比較的少ない。	△



下表の通り、「体育館」と「普通教室」の望ましい設置階について検討する。

■体育館の設置階についての比較整理

		A 案：体育館アリーナ：1 F レベル		B 案：体育館アリーナ：2 F レベル	
アクセス性	児童による日常の利用性 (普通教室階：2・3 F または 2～4 F)	普通教室との移動については B に比べ階移動が多い。	○	普通教室との移動については A 案に比べ階移動が少ない。	◎
	地域など外部者利用	1 F であるためアクセスが良い。	◎	2 F への移動が生じる。	○
災害時避難	洪水時の避難	洪水時（高さ 3.0m）においては避難場所として利用できない。	△	洪水時（高さ 3.0m）においては避難場所として利用可能。	◎
計画への影響事項	建物高さ	—		全体高さが高くなるので日影等注意が必要	
	平面計画	1 階に配置すべき室が多いため、1 F 面積が他の階より大きくなる。		教室への音の影響に配慮した計画とする必要がある。	
評価			○	平面計画上の留意点はあるが、限られた敷地での都市型校舎としては有効な計画と言える。	◎

■普通教室の設置階についての比較整理

		A 案：普通教室：1 F～3 F		B 案：普通教室：2 F 以上	
居住性	普通教室としての音環境	校舎北側配置の場合は、普通教室がグラウンド及び主な登校動線に面するため、1 F の普通教室ではグラウンドでの授業や通行者などの外部の動きや音が入りやすく、外に気が捉われやすい面がある。 また、1 F はグラウンドに面して職員室、保健室等の管理部門の室配置が優先される。	△	2 F 以上であるので外部の影響を受けにくい。	○
		校舎南側配置の場合は、南側道路との視線対策を行えば 1 F でも良好な居住環境となる。	○		
アクセス性	児童の利用性	全体として、グラウンドへの階移動が B 案に比べ少ない。 特に体力の低い低学年を 1 F とした場合、教室までの移動や低学年遊具エリアへの移動が容易。	◎	全体としてグラウンドへの階移動が A 案に比べ多い。	○
	職員の移動性（職員室 1 F として）	職員室からの階移動が B 案に比べ少ない。	◎	職員室からの階移動が A 案に比べ多い。	○
安全性	不審者への対応	低学年等が 1 F にいるため、突然の不審者への対策の有余がない。	△	低学年を含め 2 F 以上にいるため、突然の不審者への対策の有余が考えられる。	◎
評価		校舎南側配置とした場合で、普通教室への階移動の容易性を重視した場合、A 案が望ましい。 (尚、1 F の要求室が十分におさまるか否かについて要検討)	○	突発的な不審者に対し、普通教室への距離を重要視する場合、B 案が望ましい。	○